

65 歳問題プロジェクト会議について

1. 今年度の取組内容

平成 29 年度自立支援協議会専門部会提言された手法について、実際に 64 歳になられた A 様やその支援者、高齢者支援事業所に協力いただき、実践可能な事項から効果・成果の検証を行った。

○65 歳問題プロジェクト会議開催状況

	日時	場所	内容
第 1 回	平成 30 年 10 月 11 日	芦屋市保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度自立支援協議会専門部会提言書と本会議の目的について説明 A 様ケースからの課題抽出
第 2 回	平成 30 年 11 月 13 日	芦屋市保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> A 様ケースから見えた課題に対する高齢介護事業所での検討会議内容を報告 障がい、高齢関係者双方の支援者が抱える課題について検討
第 3 回	平成 30 年 12 月 5 日	木口記念会館	<ul style="list-style-type: none"> 現在の課題と今後の解決法について整理

2. 12 月時点での進捗状況

提言された手法	課題	進捗状況
ツールの活用	介護保険サービス申請をスムーズに行えるよう、手続き流れを視覚化したツールの作成	高齢・障がい福祉に関する制度運用が明確になっていない。個別ケースに応じ利用するための方法を検討する必要がある。
高齢・障がい支援者に向けた研修	高齢・障がい支援者に向けた ①制度理解研修の実施 ②障がい理解研修の実施	どの機関が主体となるか検討が必要。 高齢・障がい支援者双方の支援課題をさらに具体的に調査し、限られた時間でより効果的な研修ができるよう検討する。
連携システムの構築	64 歳から本人を中心とした支援者間の連携を行うためのシステムを構築する	制度や担当課の枠を超えたシステムの構築が必要。どの会議体を主として検討を進めるかが課題。

(一部抜粋)